



笑顔とやる気いっぱいの中 生徒自らが常に鍛え続ける中

七中だより



第 3 号

中野区立第七中学校《学校だより》

令和2年5月28日

TEL 03-3389-4171

「気持ちよい挨拶から始めよう」

校長 池田 俊一

生徒の皆さんへ

日本全国の緊急事態宣言が解除となり、本日の「個別連絡」を迎えることができました。「慣らし」の意味もかね、今回は個人で10分を設定しましたが、今日は生徒複数で集まってもらいました。慣らしを経て6月1日からは午前午後の分散登校にはなりますが、授業を進める事ができます。ここから令和2年度の第七中が少しずつ本格的にスタートすると言えます。頑張りましょう。張り切りましょう。取り返しましょう。

さて、皆さん本日の出会いはどうでしたか？ 七中は、「素晴らしい挨拶のできる学校」と言われており、生徒アンケートの結果でも挨拶について誇りをもってしゃかりできていると自覚・自負があることが分かっています。今日はどうでしたか？ 本来ならば、久しぶりの友達との再会に、駆け寄り肩をたたき合って挨拶を交わすところですが、ソーシャルディスタンスを意識しうはできません。残念で辛い気持ちと思いますが、これもやむなしです。

しかし、笑顔、目の表情、声の張り、動作などで自分の気持ちは伝えられたのでは無いですか、そして挨拶できた事の気持ちのよさや嬉しさを改めて感じられたのでは無いでしょうか。私が感動した言葉に「あいさつは、だれでもできる プレゼント」という言葉があります。6月1日からは、クラスの半分の友達に会うことができます。先輩や後輩、もちろん同級生にも会うでしょう。あなたからその一人ひとりにプレゼントを贈るつもり

で気持ちのよい挨拶をできるよう、あなたの心を整えておきましょう。また、家での挨拶はできていますか？ 家族が一番近くにいるあなたにとって大切な大切な理解者であり支えてくれる援護者でもあります。あなたの一番の挨拶をするべき相手は家族です。新しいスタートを気持ちよく切るために家での挨拶もしっかりとしていきます。

保護者の皆様へ

思えば、登校に制限が課されて3ヶ月になりました。このような事態は学校にとても初めてのことで、また地球規模のパンデミック対応は初めてのことで、まだまだ余談の許す所ではありません。そんななか、3ヶ月お子様を育てていただきましてありがとうございます。本来ならば、この時期は家庭と学校が車の両輪となって成長を支える時期でありましたが、生憎のこのような状況で、学校では多くをご家庭にお任せする事になり心苦しい次第です。

しかし6月1日からの学校再開のめどが立ってきました。いきなり以前のように学校生活とはなりません、学習のカリキュラム、行事の持ち方や給食、PTA 活動など本来の形に一刻も早く戻るよう考え進めて参ります。まだまだ未定の部分も多いのですが、どうかご理解ご協力をお願いいたします。

